

# 九神奈川 宿奈川

いま巡っておきたい東海道

**今**年は、川崎宿が誕生して400年を迎える年であり、旧東海道の整備を命じた徳川家康を主人公とするNHK大河ドラマ「どうする家康」の放送など、東海道が注目されています。江戸時代の旅人の気分になって、街道散歩を楽しんでみませんか。



歌川広重「東海道五拾三次之内 平塚 縄手道」県立歴史博物館蔵

歌川広重の浮世絵「東海道五拾三次」でも知られる東海道には、かつて江戸から京都まで53カ所の宿場がありました。県内には、難所の権太坂を上る前に多くの旅人が利用した保土ヶ谷宿、江戸幕府にとって重要な関所が置かれた箱根宿など、9つの宿場が設けられました。

宿場のにぎわいととも発展した周辺地域には、今もなお、数多くの名所が残されています。こうした歴史文化に触れつつ、ご当地グルメを味わいながらの「まち歩き」は、若い人にも人気です。

県では、宿場の成り立ちや、周辺の見どころを紹介する特設

Webサイトを設置しているほか、この10月からは、県内の宿場を巡る「GO!かながわ東海道9つの宿場まちなめぐりデジタルラリー」を実施するなど、宿場巡りを楽しんでいただく取り組みを行っています。

鉄道や自動車もない時代、長い東海道の道のりを歩んだ人たちに思いをはせることで、見慣れた場所も違った景色に映るのではないのでしょうか。今年の秋は、ぜひ、神奈川の宿場探訪にお出かけください。



神奈川県知事 小池 忠志



# 家康ゆかりの東海道と宿場をぶらり旅。



しほ たつみん 嶋立庵

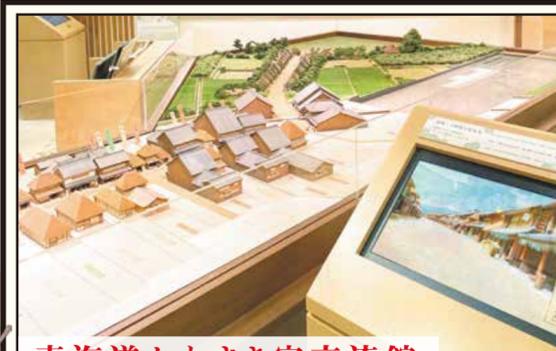
300年以上続く俳諧道場で、「嶋立沢」の標石に刻まれている「著盡湘南清絶地」が「湘南」という言葉の始まりといわれています。西行法師ゆかりの地として知られる大磯嶋立沢のほとりに建てられています。

江戸情緒が残る美しい海と松並木の街。

## 大磯宿

県には、東海道の宿  
来年第100回大会を迎える  
遊行寺や  
いま巡っておきたい

場が9つあります。  
箱根駅伝でも知られており、  
嶋立庵など  
名所が満載です。



東海道かわさき宿交流館

江戸時代の川崎宿の様子など映像と模型を組み合わせた展示で歴史や文化を学べます。旅装束の試着体験もできます。また、川崎宿の歴史を紹介する企画展が10月1日～11月26日に開催されます。

厄除けの大師さまには、  
將軍も大名も江戸っ子も参詣。

## 川崎宿



東海道で最多、大名などの  
貴人の宿泊施設である  
本陣・脇本陣が  
4軒ずつあり、  
大いにぎわいました。

## 小田原宿

複数の街道が交差する  
交通の要衝として  
栄えました。

## 平塚宿

## 箱根宿

幕末当時の姿そのままに  
復元された関所は、圧巻。



箱根関所

箱根関所は、江戸時代の主要街道であった東海道を監視するための重要な関所でした。特に出女（江戸から出ていく女性）に対しては、厳しい取り調べが行われていました。

## GO!かながわ東海道 9つの宿場まわりの デジタルラリー

開催期間：10月1日(日)～12月26日(火)

参加方法やスタンプ取得方法等  
詳しくはこちら  
※参加にはスマートフォンが必要です

歌川広重「東海道五拾三次」県立歴史博物館蔵

県内の東海道ゆかりの地72カ所の  
チェックポイントで取得した  
スタンプ数に応じて、抽選で県内  
宿泊施設の宿泊券などをプレ  
ゼントします。ぜひご参加ください。

【上記記事に関する問合せ】 県観光課 ☎045(285)0739 FAX045(210)8870

朝、江戸を出た  
旅人の多くが、  
ここで一泊。

## 戸塚宿

江戸を出て、  
最初の難所となる  
急坂「権太坂」は今では  
箱根駅伝の見どころです。

## 保土ヶ谷宿

隣接する神奈川湊は、  
海運の拠点でした。

## 神奈川宿



遊行寺

遊行寺宝物館には仏教美術を中心に絵画・彫刻・工芸・経典・典籍  
に中近世文書を含めた約2万件もの貴重な史料や、徳川家光直筆  
「柿本人麻呂像」など徳川家ゆかりの遺物が所蔵されています。

時宗総本山遊行寺(清浄光寺)の  
門前町として栄えました。

## 藤沢宿

## 食品ロスをみんなで減らそう!

はじめませんか「てまえどり」

買い物の前に家にある食材をチェックし、食材は使い  
きれぬ分だけ購入しましょう。購入してすぐに食べると  
きは、手前から順番に取りましょう。



外食時は、おいしく、適量を  
残さず食べきりましょう

- ① 出来たての美味しいお料理を食べましょう
- ② 食べきれぬ量を注文しましょう
- ③ 小盛りや小分けメニューを上手に活用しましょう



使いきれない食品を寄付する  
「フードドライブ」にご協力ください

「フードドライブ」とは、家庭で使いきれない食品を  
持ち寄り、フードバンク等に寄付することで、食べ物  
を必要とする人に届けるSDGsアクションです。



詳しくはこちら



県は、県内のスポーツチームと連携し、「フードドライブ」を推進しています。  
試合会場で行いますので、スポーツ応援とともにフードドライブに参加しませんか。

日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)の「J3リーグ」に  
参戦している  
SC相模原 田中 陸選手(左)、佐相 啓明選手(右)

みんなの少しずつを集めれば、大きなチカラになる。「物価  
高騰により、フードドライブの助けが必要な方への影響が  
始めている」という声を耳にしたのをきっかけに、SC  
相模原が貢献できることを考えました。皆さんとともに活動  
してまいります。ご協力よろしくお願いいたします。

2023シーズンSC相模原主催の  
ホームゲームでは、  
全試合でフードドライブを実施します。

- 日時：10月21日(土)14時開始 VS 愛媛FC  
10月28日(土)14時開始 VS 松本山雅FC
- 場所：相模原ギオンスタジアム(相模原市南区)

スポーツチームによるフードドライブの  
取り組みについて詳しくはこちら



【上記記事に関する問合せ】 食品ロスについては県資源循環推進課 ☎045(210)4156 FAX045(210)8847 / フードドライブについては県のち・未来戦略本部 ☎045(285)0909 FAX045(210)8865

### 「異空間へ」

(写真:横浜市・濱田 仁彦さん)

横浜港シンボルタワーの展望ラウンジが雨上がりの水面に映り、まるで異空間に誘うトンネルのようでした。  
(令和4年10月撮影)

■場所:横浜港シンボルタワー(横浜市中区)



編集/発行(毎月1日発行)  
〒231-8588 横浜市中区日本大通1  
神奈川県 政策局 知事室  
☎045(210)1111(代表)  
☎045(210)3662 FAX 045(210)8834



県公式X(旧Twitter)  
@KanagawaPref\_PR

※記事は9月14日時点の内容であり、変更になる場合があります

友達と遊べる場所がもっと増えるといいね。

僕たちの声がちゃんと届くといいな!

## 子ども自身の声を行政に反映させるために、「子ども目線会議」の参加者を募集します。

**県**は、子どもや子育てにやさしい社会づくりを進めていくため、その当事者である子どもや若者たちの本当の思いや新鮮なアイデアに耳を傾けていきます。

- 内容: 社会課題を調べ、みんなで話し合った意見を県に伝える
- 対象: 小学生～大学生・20歳代
- 参加方法: 学校・クラスまたはグループ(5人以上)単位でお申込みください
- 申込期限: 12月28日

参加方法等詳しくはこちら

かながわの未来を創る子どもたちが私たちが応援します!

### 「はじめてばこ」贈ります

**県**内にお住まいの生後1年以内のお子さんに、神奈川県産の風物に彩られたデザインの「はじめてばこ」をお届けします。協賛企業からの「おめでとう」の気持ちと一緒に子育てに役立つプレゼントが詰まっています。

※かながわMIRAIキャンペーン「はじめてばこ」は、株式会社テレビ神奈川が生活協同組合パルシステム神奈川と連携して実施している企画で、県も協力しています。

申込方法等詳しくはこちら



「はじめてばこ」を受け取った古川さんご家族

思っていたより大きな箱でびっくりしました。子どもにもママにも使える消耗品や育児に役立つグッズがいろいろと入っていてワクワクしました。箱も素敵なデザインで頑丈に作られているので、子どもの成長に合わせて使っていきたいと思います。

ブランケット、赤ちゃん用ボディウォッシュ、クレヨンが入っています。

【上記記事に関する問合せ】 県次世代育成課 ☎045(210)4690 FAX 045(210)8956

### ともに生きる:

〜 今月は、認定NPO法人まちづくりスポット茅ヶ崎 代表理事の益永律子さんに伺いました! / ますなが りつこ



このコラムでは、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念に共感していただいている方々のメッセージをご紹介します。

### 「ともに生きる」を実感できる地域や社会に

まちづくりスポット茅ヶ崎は、茅ヶ崎市浜見平団地のそばの商業施設「BRANCH茅ヶ崎3」にある認定NPO法人です。茅ヶ崎市の南西部地域で暮らす「人」と「人」が出会い、憩い、交流する場として「まちスポ茅ヶ崎(愛称「まちスポ」)」とイベントスペース「サンノイチ」を運営し、まちスポのイベントや地域情報を「まちぼっち通信」で毎月発信しています。初めてでも参加できる手話教室、ともいきアート(障がい者によるアート)作品の展示は、大人も子どもも互いの違いを知り、認め合う機会となっています。これからも「みんなの思いがつながり笑顔あふれる“スポット”」として親しまれ、多様な人々の出会いと交流の場をつくっていきます。



まちづくりスポット茅ヶ崎について詳しくはこちら



認定NPO法人 まちづくりスポット茅ヶ崎 代表理事 益永律子さん



ともに生きる社会 かながわ憲章

### ともに生きる社会 かながわ憲章

平成28年10月14日 神奈川県

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

平成28年7月26日、障害者支援施設である県立「津久井やまゆり園」において、大変痛ましい事件が発生しました。このような事件が二度と繰り返されないよう、県と県議会は、この悲しみを力に、断固とした決意をもって、ともに生きる社会の実現をめざし、「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めました。

かながわ憲章 検索



【上記記事に関する問合せ】 県共生推進本部室 ☎045(210)4961 FAX 045(210)8854